

# おのの議会だより

No.221

令和5年1月25日



J R越美北線九頭竜湖駅舎装飾お披露目式（12月15日開催）

## 主な内容

12月定例会の概要	2・3ページ
決算審査報告	3ページ
一般質問の概要	4～9ページ
常任委員会審査報告	9・10ページ
議案等の各議員表決	11ページ
特別委員会報告	12ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

補正前の予算額 → 補正額(増額) → 補正後の予算額  
184億9942万円 6億4136万円 191億4078万円

補正のあった主な内容	補正額	補正後の額
【出産・育児スタート応援事業】 妊娠届や出生届を行った妊婦等に対する相談支援と支援金の給付	2140万円	4586万円
【屋内型子どもの遊び場整備事業】 子どもの遊び場を整備するため基本計画を策定	403万円	403万円
【指定管理者エネルギー価格高騰対策事業補助】 光熱水費の比率が高い集客施設の指定管理者に対し高騰したエネルギー費用の一部を補助	1400万円	1400万円
【社会福祉施設等物価高騰特別対策事業補助】 市内で社会福祉サービスを提供する事業所等に対し高騰したエネルギー費用等の一部を補助	740万円	740万円
【葬斎場管理経費】 和式トイレを洋式に改修し、多目的トイレを整備	454万円	3610万円
【職業訓練センター管理運営経費】 原油価格等高騰に伴う燃料費の増額	16万円	1643万円
【スターランドさかだに管理運営経費】 令和3年度から休館している施設を再開するための清掃等の経費	150万円	196万円
【鳥獣害のない里づくり推進事業】 有害獣捕獲頭数の増を見込んだ委託料の増額	970万円	4463万円
【観光施設営繕事業】 星空の街・あおぞらの街全国大会開催に向けたフレアール和泉の改修	2830万円	8911万円
【除雪経費】 冬季除雪に必要な経費の増額	1億8000万円	3億4523万円
【消防庁舎維持管理経費】 原油価格等高騰に伴う電気料及び燃料費の増額	130万円	1215万円
【小学校管理運営経費】 原油価格等高騰に伴う電気料の増額	482万円	1億1435万円
【中学校管理運営経費】 原油価格等高騰に伴う電気料の増額	513万円	6679万円
【林道施設補助災害復旧事業】 被災した林道(奥越線ほか)の復旧工事	4146万円	4146万円

第430回定例市議会が11月28日から12月15日までの18日間の会期で開催されました。  
今回の定例会では、令和4年度一般会計や特別会計の補正予算案、条例の制定案、財産の取得など全20議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた令和3年度決算認定議案4件、そして市会案2件、陳情4件について審議しました。審議結果は、11ページのとおりです。

条例の制定等

市長等の損害賠償責任の上限を定める条例案  
市長等の市に対する損害を賠償する責任の一部

大野市職員の高齢者部分休業に関する条例案  
地方公務員の定年引き

大野市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例案  
地方公務員法の改正に伴い、職員の定年引き上げ等に関し、必要な事項を定めました。

大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案  
人事院勧告に準じ、所要の改正を行いました。

大野市農業集落排水処理施設の設定及び管理に関する条例の一部を改正する条例案  
使用料金の算定方法の見直しに伴い、所要の改正を行いました。

を免責することに関し、必要な事項を定めました。

**大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例案**

災害時の地域防災力の強化と、消防団の活動環境を整備し団員を確保するため、災害時に限定して出場する機別消防団員制度と休団制度の導入に必要な事項を定めました。

## その他の議案

### 指定管理者の指定について

次の施設の指定管理者を指定しました。

- ・大野市九頭竜保養の里
- ・大野市駐車場（北大野駅前駐車場及び駅前駐車場）及び大野市自転車駐車場
- ・大野市城下町西広場

### 財産の取得について

大野市ファミリーリゾート休養施設用地（南六呂師地係）の取得を認めました。

## 人事案件

公平委員会委員の選任に

ついて

引き続き、桶谷浩正氏（下麻生嶋）と遠藤洋子氏（城町）を選任することに同意しました。

## 市会案

**議案第55号令和4年度大野市一般会計補正予算（第6号）案のうち観光施設営繕事業に対する決議**

フレアール和泉の改修に当たり、市の施設であるため、①市が主体的に事業を進めること、②施工に当たっては、原則、市内の業者に発注すること、③予算執行に当たっては疑義のないようにすることを決議として求めました。

### 大野市議会政治倫理条例の一部を改正する条例案

大野市議会議員の定数減に伴い、所要の改正を行いました。

## 陳情

**泉町1区地係における早急かつ着実な公共下水道の整備を求める陳情書**

公共下水道の整備を求める区民代表 黒崎輝彦氏他からの本陳情は、採択としました。

**直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」しらすぎ」を、現行のまま**

存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情

特急存続を求める有志代表 橋川洋氏からの本陳情は不採択としました。

**大野市文化会館の整備に向けた早期検討を進めよう求める陳情書**

大野市文化協会会長 羽根田繁紀氏からの本陳情は、採択としました。



大野市文化会館

## 令和3年度 歳入歳出決算を認定 決算特別委員会の主な内容

（廣田委員長、伊東副委員長、白崎、高田、梅林、永田、榮）

然として財政構造が硬直した状態にあるので、健全な財政を維持するため、

令和3年度決算における本市の経常収支比率は90・1割と、令和2年度よりも7・8ポイント減少してはいるものの、依

**全市的に取り組む施策**

市の計画や施策パッケージなどに基づく、全庁的な取り組みに関する進捗管理が不十分で、全体の統率がしっかり取られていない印象を受けた。

主管課においては、各施策の効果を見極め、必要に応じて、担当課に対して再考を指示するなどして再考を指示するなどして再考を指示するなどして再考を指示するなどして再考を指示するなどして再考を指示するなどの全体管理と、目標達成に向けた全庁的な意識統一を図り、重要施策に関する実動的な連携体制の構築を求める。

### 学びの里「めいりん」

事務室等の個別空調が設置されたが、本施設には毎年多額の光熱水費と、修繕費や工事請負費を要している。

次年度以降の修繕等については、将来的なランニングコストの削減効果も見極めた上で、施設の大規模改修も念頭に、計画的に進められるよう、必要に応じて当初予算に盛り込まれたい。

## 令和3年度 大野市各会計決算総括表

### ●一般会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	203億6739万円	194億768万円

### ●特別会計

区分	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	35億1809万円	33億8353万円
和泉診療所事業	8988万円	8988万円
後期高齢者医療	4億7820万円	4億7621万円
介護保険事業（保険事業勘定）	41億826万円	40億1365万円
介護保険事業（介護サービス事業勘定）	1461万円	1348万円
農業集落排水事業	3億1600万円	3億1175万円

### ●企業会計

区分	収益的収支 (事業運営と施設管理)		資本的収支 (施設整備など)	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	1億4755万円	1億4322万円	4100万円	1億123万円
簡易水道事業	1億5790万円	1億4143万円	1640万円	3697万円
下水道事業	7億2652万円	6億9535万円	7億2205万円	10億567万円

※資本的収支の支出に対する収入の不足分は留保資金などで補てん

# 中学校再編後のスクールバス8本のバスや運転手の確保は

## 経費、早い段階での運転手確保、市営バスの活用の検討をしている



未来おおの  
木戸屋八代実 議員



**問** 中学校の再編で、学校再編準備委員会から、合計8本のスクールバスを運行することが提案されている。バスや運転手の確保などについての見通しは。

**答** バスの確保は、購入やリースに係る費用、運行経費の将来負担の比較も含めて検討している。また、早い段階で運転手を確保するための方策を検討している。和泉地区の生徒は、公共交通機関の見直しに合わせて、市営バスの活用も検討している。

**問** 陽明中学校では5本のスクールバスを運行し、降車する時間はほぼ同じような時間帯になる。陽明中学校の敷地は狭く、前の道も非常に狭いため、生徒の安全面を十分に配慮しなければならぬ。この点についてどのようなことをしているのか。

**答** 現在、校舎改修を進めているが、その中でできることがないか検討している。ただ土地の制約、費用面の制約があるので、ソフト面に十分配慮して、生徒の安全確保に努めていきたい。

**問** 部活動の休日の地域移行について、本年度の評価は。また、来年度の取り組みはどのように行っていくのか。

**答** 実践研究をしている軟式野球、サッカー、バスケットボールの3競技団体の関係者などによる大野市部活動地域移行検討委員会での協議や、2月上旬に生徒・保護者等に対して実施するアンケート調査により評価する。

来年度は、本年度の課題を整理し、この3種目の休日の地域移行を着実に進める。

一般質問

# 雪を処分したいが流雪溝に水が流れないことの解決策は

## 困っている地区は、市建設整備課に相談を



日本共産党大野市議員  
野村 勝人 議員



**問** 和泉地区の住民は、市街地へのお買い物ツアーを非常に楽しみにしている。せめて月2回にならないのか。

**答** 高齢化により体が不自由になる人が増えてくることに対応するため、区民と話し合う機会を持って、ニーズを伺い、実施機関と相談しながら考えていく。

**問** 和泉地区の医療について、どのように考えるのか。

**答** 歯科診療を残すことを強く求める。大野ICから九頭竜ICまでが開通したら歯科を廃止する。地元にも、今までに説明している。

**問** 和泉地区の人口がさらに少なくとも受診者が減ってくる、内科もなくなるのではないかと心配も出ている。内科の存続を求めたい。今のところ、和泉診療所の内科については、廃止する計画はない。

**問** 除雪車が通過した後、残された雪を処分したいが流雪溝に水が流れておらず、対策を取ってほしいという要望がある。解決策は何か。

**答** 流雪溝の利用・水量管理については、関係地区相互で調整、管理するよう沿線住民にお願いし、必要なせき板などの設置は市が協力している。地区間での水の流れの調整は何かと問題があり難しいところではある。ある地区では利用する時間を上と下の区域で分けるなど、地区内で工夫しているところもあり、このような事例も紹介できる。困っている地区は建設整備課に相談してほしい。

限られた水資源を有効に活用するため、引き続き協力をお願いしたい。

# 子ども家庭庁の設置による本市の事務事業への影響は

現時点で、事務の影響はないものと考えている



新風会・公明

しらさき たかゆき  
白崎 貴之 議員



**問** 大野ですくすく子育て応援パッケージは、どのような成果を上げてきたのか。

**答** 全国トップクラスのこども医療費の助成では、県内の大学などに通う20歳までの学生の医療費を窓口無料化した。

県内トップクラスの取り組みとして、保育所や認定こども園の第2子以降の無料化を実現した。家庭育児応援手当の支給においては、県内9市で唯一、所得制限を撤廃。

小中学校の給食では、県内9市で初めて、第3子以降の給食費の無料化を行った。

**問** 屋内型子どもの遊び場の整備に向けた今後の予定は。

**答** 令和5年度は実施設計、令和6年度には施設の改修や遊具の整備などを行い、同年度中の供用開始を目指す。

**問** 子ども家庭庁の設置による本市の事務事業への影響は。

**答** 本市では、国よりも早く、令和3年度から子ども・子育て支援や虐待防止、ひとり親への支援などに関する事務を教育委員会の所管とし、乳幼児期から学童期にわたる子育ての支援を切れ目なく実施できる体制を強化している。現時点で、こども家庭庁設置による事務の影響はないものと考えている。

**問** 各自主防災組織に防災士を配置するよう支援できないか。

**答** 専門的な知識を持った防災士が自主防災組織に参画することで、自主防災組織の強化、地域防災力の向上が期待されるので、自主防災組織に対する防災士の育成について、今後も働き掛けたい。

# 人口流出はどうして止まらないのか

インフラ整備の遅れが一つの要因と考える



双葉会

たかおか かずゆき  
高岡 和行 議員



**問** 市長の政治姿勢について問う。行財政改革の進捗は。

**答** 令和5年度当初予算編成に向けて、優先順位の精査や無駄の排除を徹底して事業の重点化を図り、行財政改革を一層推進する。

**問** 12年前に尼崎市長に就任された当時最年少の女性市長であった稲村市長が過日退任されたが、就任当時のマニフェストを知っているか。

**答** 知らない。

**問** それは「新たな借り入れはしない」である。ところで富田産業団地6区画中、未売却の4区画はどうか。

**答** 売却できていない。

**問** 1540万円の美川町の土地売却はどうか。賃貸滞納金800万円及び解体費用の合計は。

**答** 売却できていない。滞納金額は、令和3年度

末で公有地貸付料の過年度分と損害金を合わせる1800万円。

**問** 本市の人口動態はどうか。

**答** 本市の昨年の出生数は152人と昭和46年以降最少で、死亡数は545人と平成以降2番目に多く、社会増減については316人減少している。

**問** 人口流出はどうして止まらないのか。

**答** インフラ整備の遅れが一つの要因と考える。

**問** 国道158号計石・境寺間は、前知事が平成24年からおおむね10年で完成と言っていたが、令和2年から10年にすり替わっている。多くの市民が通勤に使う重要な道路ではないのか。

**答** 県には国へ要望を上げてもらっているが、さらに強く要望をしたい。

一般質問

# 限界集落という概念を本市の210自治区に当てはめた割合は

限界集落は15%にあたる31区、準限界集落は55%で116区、存続集落は30%で63区

※限界集落は居住者の半数以上が65歳以上の集落。準限界集落は居住者の半数以上が55歳以上の集落。存続集落は居住者の半数以上が55歳未満の集落。



清風会

ひろた

廣田

議員



**問** 令和6年4月の中学校再編後、教育環境はどのように変化するのか。

**答** 各中学校の生徒数の増加により生徒同士の関わりが増え、自分の良さや可能性を認識するとともに、他者の存在を尊重し、多様性を認め合う社会に適應できる人への成長を期待する。

また、専門教科教員の配置により、知的にも情動的にもバランスの取れた教育環境を整えることができるのと同時に、部活動の選択肢が増え、生徒が意欲的に活動できると考える。このことは教科学習とともに芸術やスポーツの分野でも才能を開花させるきっかけにもなると期待する。

さらに、新しい学校生活をどのように充実させていくのかを考えたり、実際に行動を起こしたり

するなど、再編に積極的に参画することを通し、今回の再編を生徒の主体性を育てる絶好の機会にもしたい。

**問** 令和8年4月の小学校再編に向け、どのように取り組むのか。

**答** 小学校の令和8年度の再編に向けて、中学校の再編と同様に校区ごとに再編準備委員会を設置し準備を進めていく予定である。

今回の中学校再編で得られた経験をフィードバックし、丁寧に進めていきたい。

**問** 本市の210自治区で、居住者の半数以上が65歳以上である限界集落と55歳以上の準限界集落を合わせるとどのような割合になるのか。

**答** 本市では、自治区総数の約70%となっている。

一般質問

# 男性用トイレへのサニタリーボックス設置について、本市の考えは

市庁舎や結とぴあなどの男性用個室トイレにサニタリーボックスの設置を進める



新風会・公明

いとう

伊東由起恵

議員



**問** 政府の総合経済対策に盛り込まれた「出産・子育て応援交付金」の事業内容と対象者は。

**答** 妊娠期から出産・子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と妊産婦に対する経済的支援を一体的に実施する。

妊娠届出時と出生届出時の面談後に、それぞれ応援ギフトとして5万円相当の現金やクーポンを支給する。対象者は令和4年4月以降に出産や妊娠届を出した人となる。

**問** ひきこもり状態の人への支援について、本市では、どのような支援を行っているのか。

**答** 自立相談支援センター「ふらっと」では、本人や家族から聞き取りを行い、一人一人の状況に合わせたきめ細かで継続的な支援を行っている。

**問** 「ふらっと」内での相談やフリースペースを活用した居場所の提供のほか、日常生活環境の改善についてサポートし、最終的には積極的に社会参加できるように支援している。

**問** 膀胱がんや前立腺がんの手術後、尿漏れパッドを使わざるを得ない人や尿漏れパッドを日常的に着用している人が、気兼ねなく外出できるように支援が必要と考えるが、男性トイレへのサニタリーボックス設置について本市の考えは。

**答** 今後、一般の利用者が多い市庁舎や結とぴあなどの男性用個室トイレに、サニタリーボックスの設置を進め、設置に併せて周知を行っていきたい。また、市内の商業施設に対し、協力を呼び掛けたい。

# デジタル田園都市国家構想の本市の対応は



さかえ まさと お  
**榮 正夫**  
 議員

日本共産党大野市議員



## 国の事業採択を受け、デジタル技術の活用を進めている

**問** 岸田内閣の看板は、新しい資本主義である。このブランドデザインは令和4年6月に実行計画が閣議決定された。新自由主義の弊害を乗り越える対処と方法を二つ示している。

一つは、新自由主義が生み出した孤独、環境、教育などさまざまな社会的課題を解決するため、民間が収益活動として取り組める仕組みをつくること。もう一つは、新自由主義が生み出した大都市と地方の格差を地方のデジタル化によって解決することであり、これがデジタル田園都市国家構想とのことである。

これに本市が地方自治体としてどのようにアプローチするのか。また、デジタル実装タイプの交付金申請は済ませたのか。

**答** 国では、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すデジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル技術の活用によって地域の個性を生かしながら地方の社会課題の解決や魅力向上を図り、地方活性化を加速させることとしている。

国は令和3年度予算でデジタル田園都市国家構想推進交付金を創設し、本市はデジタル実装タイプのTYPE1の採択を受け、公民館と市役所をリモートでつなぎ、市民が市役所まで行かなくても相談や書類の提出ができるようにする取り組み等のデジタル技術の活用を進めている。

**問** 本市は人口減少が進み、現実にはすでに3万人を切っている。そのことで、地方自治体が有すべき公共性を創出する機能が壊れているのではないか。

**答** 公共性は非常に大事だと思っている。

# 本市独自の施策によって原油等価格高騰で苦しんでいる市民を支援することはできないか

## 住民非課税世帯等を対象に生活応援給付金、電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金等を支給している



まつもと よしひこ  
**松本 嘉彦**  
 議員

無党派



**問** ロシア・ウクライナ紛争の影響で原油価格が高騰している。そのためガソリンや暖房にかかる費用が大きくなり苦しんでいる市民を見て、どのような見解を持っているか。

**答** 2年半以上続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ情勢を背景とした国際的な原油価格の上昇や円安の影響により、日常生活に密接なエネルギーや食料品等の価格上昇が続く、市民の家計や事業者の経営を圧迫している。

総務省が公表している10月の全国消費者物価指数的の総合指数は、変動の大きい生鮮食品を除き、前年同月と比較し3・6割上昇した。生鮮食料を除く食料は5・9割上昇、電気・ガスなどエネルギーは15・2割上昇し、特に低所得世帯の家計に大きな影響を与えているものと考えている。

**問** 本市独自の施策によって、苦しんでいる市民の支援はできないか。

**答** 本市は国の交付金を活用しこれまでに低所得世帯の支援として、住民税非課税世帯等を対象に、1世帯当たり10万円の臨時特別給付金と、市独自の給付金として1万円の生活応援給付金を支給した。また、住民税非課税世帯に、1世帯当たり5万円の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を給付している。

そのほか国の制度により、住民税非課税世帯の子育て世帯やひとり親世帯に給付金を給付している。これらの給付金は、物価高騰の影響を受けやすい低所得世帯の方々の生活支援につながっていると考える。

また、認定こども園や小中学校等の給食費の負担軽減も行っている。

# インフルエンザと新型コロナの同時流行 が起きたときの学級閉鎖の判断基準は



新風会・公明

ひろせ  
**廣瀬 浩司**  
こうじ  
議員



## 明確な判断基準は決まっていない

**問** インフルエンザや新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖の数的な基準は。

**答** インフルエンザの学級閉鎖の基準は、学級の欠席人数が約2割。新型コロナウイルス感染症についても、基本的にはインフルエンザの基準に沿って運用されている。

**問** 同時流行が起きて、インフルエンザの休みが1・5割、新型コロナウイルス感染症の休みが1・5割、トータルでクラスの3割の子どもが休んだときの判断基準は決まっているのか。

**答** 明確な判断基準は決まっていない。

ただ実際問題として、クラスの中で2割、3割の欠席者がいるという事実に変わりはないので、子どもたちや保護者の不安を考えると、学級閉鎖

をする必要があると判断すべきである。

**問** 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言では、令和7年度末をめどに、段階的に地域移行していくことを目指すとしている。

本年度の本市の取り組みとして、軟式野球、サッカー、バスケットボールの3競技について、それぞれ大野市軟式野球連盟、大野市サッカー協会、大野ジュニアバスケットボールクラブに実践研究を委託している。

来年度は3競技だけを続けるのか、4競技、5競技と広げていくのか。

**答** 来年度、まずは実践研究をしている3競技について、着実に令和5年度に移行できるように進めていきたい。他の運動部活動も、できることは進めていきたい。

一般質問

# パートナーシップ制度について、 市長の所見は



無党派

うめばやし  
**梅林 厚子**  
あつこ  
議員



## 本制度の導入について検討を進めている

**問** パートナーシップ制度について、市長の所見は。

**答** パートナーシップ制度とは、一方又は双方が性的少数者である一人が、お互いを人生のパートナーとして相互に協力し合うことを約束した関係であることを宣誓し、自治体が二人のパートナーシップ関係を証明する制度と認識している。人権は誰もが等しく持つており、同じ社会の一員として豊かな生活を営むために、お互いの個性を認め合う社会を築くことは大切であり、本市でも導入について検討を進めている。

**問** 本市の不登校児童・生徒の現状と対応を伺う。

**答** 令和3年度は児童・生徒千人当たり20・9人で過去5年間で最高。本年度は10月末現在、千人当たり13・8人で、昨年同時期と同じ状況。対応は、結の故郷教育

相談員とスクールカウンセラーを学校に配置し、児童・生徒や保護者の不安の解消に努めている。

**問** 保護者に寄り添った初期対応はできないか。

**答** 子ども自身にもきめ細かい対応をし、家庭とも密接に話をして、子どもと家庭の困り事を学校と家庭が共有しながら寄り添う。

**問** 昭和52年施行の地下水保全条例の改正が進められているが、一番のポイントは。

**答** 市民にとっての地下水の重要性の啓発。

**問** 一番の課題は。

**答** 水の重要性に関する市民の関心が低いこと。

**問** 現行条例は井戸を掘る際、届け出のみだが、許可制にする必要があるのでは。

**答** そういところも一つ一つ検討していく。

# フレアール和泉の改修委託料2830万円の概要は

## 大浴場、客室の改装を計画から実施まで委託する

※当該委託料の予算は、議会としての意見（附帯決議）を付けて議決。



新風会・公明  
はやし  
より かず  
順和 議員

一般質問



- 問** 星空の街・あおぞらの街全国大会開催に向けたフレアール和泉の必要な改修を行うとした委託料2830万円の概要と、委託先の想定は。
- 答** 全国大会は10月8日・9日、式典会場は文化会館を候補としている。フレアール和泉は、玄関ホールや大浴場、客室の一部の改装が必要であり、指定管理者指定の議案が認められれば、改修の計画から実施までを指定管理者に委託したい。
- 問** 委託料は指定管理者選定の条件だったのか。
- 答** 切り離して考えてもらいたい。
- 問** 委託先が改修する場合、入札は市の指名業者、委託先任せのどちらか。
- 答** 指定管理者が業者を選定することになるが、市内事業者を活用することを伝えたい。また委託料に係る部分はしっかりと見ていきたい。
- 問** 委託料の財源として地域振興基金1千万円を充てる理由は。
- 答** 大会に向け、本市のイメージアップとともに、市内の宿泊機能強化の改修であり、基金の目的に合ったものと考えている。
- 問** フレアール和泉は用途変更も検討するとしているが、具体的な想定は。
- 答** 市が一番大事にする温泉が隣にあり、例えばその魅力を活用した高齢者施設を想定している。
- 問** スターランドさかだにの管理運営方法は。
- 答** 阪谷地区の有志による運営協議会が立ち上がり、将来的に施設の譲渡を受けようとする事業計画等が示された。それを受け来年度は市が直接施設を管理しつつ、同協議会と協力して施設を有効活用し、同協議会の自立運営も促進していく。



フレアール和泉

### 産経環境

### 常任委員会審査報告

（白崎委員長、廣瀬副委員長  
梅林、永田、松田、榮）

#### 観光施設営繕事業

#### ◎理事者の説明

大野市九頭竜保養の里の令和5年4月再開に向けた、フレアール和泉の改修経費として、委託料2830万円を計上し、指定管理予定者に発注を考えている。

#### ◎委員の意見

指定管理者に委託したい意図は理解するが、本来は市が改修して指定管理者に引き渡すべきである。

施工に当たっては、市が主体的に事業を進めること、原則、市内業者に発注することなど、要望事項を付して認めることとする。

#### 財産の取得

#### ◎理事者の説明

六呂師高原にあるトンネル温浴施設うらら館の敷地を取得する。

この要望事項を理事者に対する議会の意思とするため、令和4年度大野市一般会計補正予算（第6号）案のうち観光施設営繕事業に対する決議を市会案として提出する。

#### ◎委員の意見

六呂師高原の活性化に向けて、取得する土地をどのように生かすのか、市の考え方を整理して、その意思を県と民間事業者に示し、構想の具現化に努められたい。

#### 一般廃棄物収集運搬業務委託

#### ◎理事者の説明

債務負担行為補正において、令和5年度から9年度までの期間で、委託料の限度額として7億9千万円を計上した。令和6年度からプラスチック

## ▼教育民生

(林委員長、川端副委員長、  
木戸屋、高田、高岡)

### いきいきわくわく学習事業

#### ◎理事者の説明

社会人の学び直しを推進する観点で実施する就業関連の講座は、参加申し込み者数が少ないため中止となる講座もあり、参加者数が前年度を大きく下回っている。

#### ◎委員の意見

令和4年度当初予算審査時に、人材育成に関する企業ニーズを反映した講習等を行うよう求めた。企業が求める人材育成につながる場の確保について、令和5年度当初予算に反映されたい。

### 学校再編に伴う学校施設の改修

#### ◎理事者の説明

令和6年度再編予定の開成中学校、陽明中学校の躯体劣化度調査において、両校ともに躯体コンクリートは十分な強度が

あり、長寿命化改修に適している」と診断された。

#### ◎委員の意見

学校施設の改修工事による授業への影響などが懸念される。児童・生徒の安全安心を第一に、限られた財源を考慮し、設置する設備などの優先順位を実施設計の中で検討されたい。また工事の進捗について議会に対し適宜説明されたい。

### 学びの里「めいりん」の管理

#### ◎理事者の説明

地下水を利用した採熱水槽の能力低下などによる空調設備の不調が毎年



学びの里「めいりん」の空調設備

続き、雨漏りによる床材腐食、施設老朽化も進んでいる。空調システムのエネルギー調査等を実施しており、最適な空調システムへの改修方針の決定に必要な基礎資料を作成していく。併せて、ネットゼロエネルギービル(ZEB化)可能性調査も

行っており、再生可能エネルギー設備の導入を検討している。

#### ◎委員の意見

毎年同じような修繕工事が見受けられる。本年度、多額の費用をかけ調査していることを踏まえ、今後の空調設備等の改修については慎重に検討すべきである。改修方針やZEB化に向けた調査結果については、引き続き議論していくこととする。

### DAINOUスポーツランドの在り方

#### ◎委員の意見

冬場以外での利活用推進に係る予算を認めてきたが、夏場利用はイベント1件による14人の利

用のみであったことから、施設を維持する方向性が現状と合致しているのか、市民ニーズをしっかりと見定め対応されたい。

## ▼総務生活

(廣田委員長、伊東副委員長、  
松本、堀田、野村、畑中)

### 令和4年度大野市一般会計補正予算(第6号)案に対する動議

#### ◎理事者の説明

観光施設営繕事業委託料2830万円は、フレアール和泉の老朽化に対応するため、施設の一部改装を行うものである。本市のイメージアップとPRにつなげることを目的としていることから、その財源に地域振興基金一千万円を充当することとした。

#### ◎委員の意見

施設修繕は地域振興基金の使途にそぐわないのではないかと。地域振興基金の使途をより明確にす

べきではないか。

#### ◎理事者の説明

可決された予算組み替えの動議の趣旨を重く受け止め、本年度末までに対応を検討する。

#### ◎委員の意見

魅力ある施設になることで、市外からの来訪も期待できるので、今後、この遊び場も活用した結核の誘客が促進されるよう、庁内で連携して取り組まされたい。

### 大野市文化会館の整備

#### ◎理事者の説明

新しい文化会館の整備に関しては、施設利用者をはじめ、市民の声をよく聞いた上で、施設の在り方について再度検討し、考え方を整理したい。

#### ◎委員の意見

文化会館について、耐用年数を迎える令和8年6月までに休館を検討するという方針が示されているが、市民が求める形で、なるべく早期に解決すべきである。

時間的余裕がないので迅速に対応されたい。

### 屋内型子どもの遊び場整備事業

#### ◎理事者の説明

まちなか交流センターを改修し、屋内型子どもの遊び場を整備する。本年度は、市内の幼児・児

童の保護者を対象に実施したアンケート調査での意見を生かしながら基本計画を策定する。

#### ◎委員の意見

魅力ある施設になることで、市外からの来訪も期待できるので、今後、この遊び場も活用した結核の誘客が促進されるよう、庁内で連携して取り組まされたい。

### 機能別消防団員制度

#### ◎理事者の説明

災害時の地域防災力の強化と、消防団の活動環境を整備し団員を確保するため、災害時に限定して出場する機能別消防団員制度を導入する。

#### ◎委員の意見

本市では、大雪による被害をはじめ、近年の集中豪雨の多発による水害なども十分想定されるので、消防団員の確保に努め、本制度の良好な運用を図られたい。

# 令和4年12月第430回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

全会一致で認定・可決・同意・趣旨採択とされた議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名			
市長提出議案	50	認定	令和3年度大野市水道事業会計の決算認定について【継続審査】	市長提出議案	66	可決	大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	
	51	認定	令和3年度大野市簡易水道事業会計の決算認定について【継続審査】		67	可決	大野市消防団員の定員、任免、服務、報酬等に関する条例の一部を改正する条例案	
	56	可決	令和4年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)案		68	可決	指定管理者の指定について(大野市九頭竜保養の里)	
	57	可決	令和4年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)案		69	可決	指定管理者の指定について(大野市駐車場(北大野駅前駐車場及び駅前駐車場)及び大野市自転車駐車場)	
	58	可決	令和4年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)案		70	可決	指定管理者の指定について(大野市城下町西広場)	
	59	可決	令和4年度大野市水道事業会計補正予算(第2号)案		71	可決	財産の取得について	
	60	可決	令和4年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第2号)案		72	可決	令和4年度大野市一般会計補正予算(第7号)案	
	61	可決	令和4年度大野市下水道事業会計補正予算(第2号)案		73	同意	公平委員会委員の選任について	
	62	可決	市長等の損害賠償責任の上限を定める条例案		74	同意	公平委員会委員の選任について	
	63	可決	大野市職員の高齢者部分休業に関する条例案		市会案	7	可決	議案第55号 令和4年度大野市一般会計補正予算(第6号)案のうち観光施設管轄事業に対する決議
	64	可決	大野市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例案		市会案	8	可決	大野市議会政治倫理条例の一部を改正する条例案
					陳情	9	趣旨採択	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情書

## 各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提出議案	49	令和3年度大野市歳入歳出決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	52	令和3年度大野市下水道事業会計の決算認定について【継続審査】	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	/	○	○	○	×	
	55	令和4年度大野市一般会計補正予算(第6号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/	○	○	○	○	×	
	65	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	/	○	○	○	○	×	
陳情	7	泉町1区地係における早急かつ着実な公共下水道の整備を求める陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	/	賛	賛	賛	否
	8	直ちに特急乗り入れ工事を中止し、北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」を、現行のまま存続させるよう、国に対する意見書を提出することを求める陳情	不採択	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	否	否	/	否	否	否	賛
	10	大野市文化会館の整備に向けた早期検討を進めるよう求める陳情書	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	賛	賛	/	賛	賛	賛

議長(松田元栄)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。陳情の願意について採決。賛成「賛」、願意を否とする場合「否」。

## 委員会視察レポート

### 産経環境常任委員会

11月9日～11日に実施。

岡山県井原市は、旧美

星町時代に日本初の光害防止条例を制定し、星空の保護に取り組んできました。令和3年度に星空の世界遺産ともいわれる国際ダークスカイ協会による星空保護区に認定され、認定後はJAL、JR西日本、日本旅行などと観光プロジェクトを発足させ、ツアー造成に取り組んでいます。



### 教育民生常任委員会

10月26日～28日に実施。

新潟県糸魚川市では、妊娠・出産・育児を安心して行い、健やかな子どもを育むため、糸魚川市親子保健計画を策定し、地域全体で親子の健康づくりを推進しています。長野県安曇野市では、自転車を活用した健康づくりを推進しています。愛知県春日井市では、令和4年2月に子どもの屋内遊び場「ぐりんぐりん」がオープンしました。



親子で楽しみながら、子どもの遊びや知育と体験を通して身体能力を磨き、体力を養成することができる全天候型の遊び場となっています。

## ▼総務生活常任委員会

11月9日～11日に実施。

徳島県神山町では、平成17年度に町内全域に光ファイバー網を整備したことなどにより、ITベンチャー企業が次々と町内にサテライトオフィスを構え、令和3年度までに193世帯・330人が移住してきました。

また、令和5年4月には、起業家の育成を目指す「神山まるごと高等専門学校」の開校が予定されています。神山町では、この学校の設立により、人口減少の抑制や町の活性化が期待できるため、



神山町役場での研修

## 特別委員会 報告

個人版ふるさと納税、企業版ふるさと納税を活用して、学校設立への支援を行っています。

## ▼人口減少対策特別委員会

(堀田委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、林、白崎、永田、榮)

### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### ◎理事者の説明

本市は、出産の可能性がある世代の人口減少が続いている状態であり、当分の間、人口減少は続くと分析している。

#### ◎委員の意見

子育て世代の人口を維持するため、子育てに係る負担軽減施策の充実と就業や住まいに関する施策を担当する各課との連携を強化し、施策の推進・実行に向けて迅速に取り組まれたい。

### 新しいひとの流れをつくる

#### ◎理事者の説明

大野市総合計画・総合戦略会議の移住定住部会から、移住定住に結びつける効果的な方策が示され、各担当課で、その施策の事業化に向け検討している。

#### ◎委員の意見

子育て世代への情報の届け方が大事である。必

要な情報をしっかりと届けるとともに、その確認をすべきである。さまざま媒体を通して、庁内が連携して情報提供されたい。

### 委員間協議での総括

人口減少対策は、本市にとって最大かつ喫緊の課題であるが、特効薬はなく一朝一夕で解決できるものではない。

本市に住みたいと思えるよう、地域経済の活性化、健康のまちづくり、また、持続可能なまちづくりなどの充実に向け、市民や関係者の協力を得て、職員一丸となり取り組ま

#### ◎委員の意見

これから降雪期に入り除排雪作業を伴う工事が必要となる。これまで、ほぼ順調に工事が進んでいるので、安全面にはより一層留意され、大きな事故が発生しないことを切に願う。

#### ◎委員の意見

中部縦貫自動車道の県内全線開通による本市の経済効果の目標、また開通を踏まえた本市のまちづくりのビジョンを広報おおの等で明確に示しながら、市民の盛り上がりにつなげていくことが重要である。

## 編集後記

本年度は、各常任委員会で県外視察研修に行くことができました。その概要を紙面に掲載しました。各議員は、これらの研修で学んだことを積み上げ、意見を述べたり改革につなげたりしています。

令和4年度の議会だよりは、今回で一区切りとなります。議会だより編集委員会では、予算が限られている中、議会の内容を少しでも分かりやすく市民の皆さまに伝えられるように工夫をしました。しかし、議会で審議される内容自体が難しく、簡潔に、正確に表現することは困難です。この紙面を通して、議会への関心を少しでも高めていただければ幸いです。(座長 木戸屋八代実)

### 議会だより編集委員会

- 委員 木戸屋八代実 林 順和 廣田 憲徳 野村 勝人 高岡 和行

## 畑中章男議員 総務大臣感謝状

畑中章男議員が議員を35年以上務め、10月24日に総務大臣から感謝状が贈呈されました。

